

Topic1. 真珠養殖業者へ赤潮対策に係る説明会を開催しました！

5月20日(水)に、真珠養殖業者約20名に対して、ヘテロカプサ赤潮対策に係る説明会を熊本大分真珠養殖漁業協同組合で開催しました。

当日は、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所の中山環境保全部長を講師としてお招きし、底泥中のウイルスを活用したヘテロカプサ赤潮防除策の現場利用について事例紹介いただきました。

また、当センターからは、ヘテロカプサ赤潮が発生した際の海底泥散布の実証試験の実施等について説明を行いました。

参加した真珠養殖業者からは、「養殖業者自身によるモニタリング体制が必要」との意見をいただきました。引き続き、関係機関と連携しながら、ヘテロカプサ赤潮の対策に取り組んでいきます。



真珠養殖業者への説明会

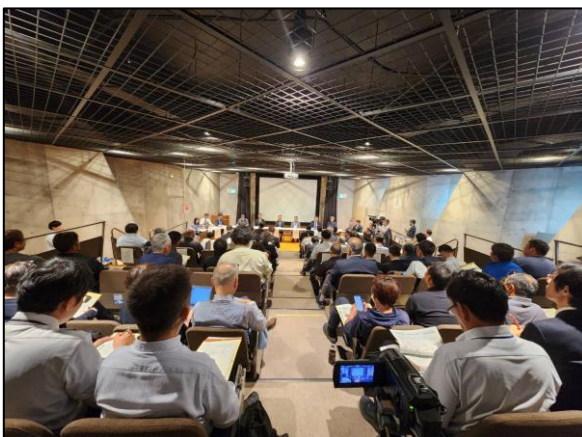
Topic2. 赤潮対策プロジェクトチーム成果報告会を開催しました！

5月21日(木)に、令和7年4月に発足した赤潮対策プロジェクトチーム(PT)の成果報告会を当センターで開催し、漁業関係者等約90名の方に出席いただきました。

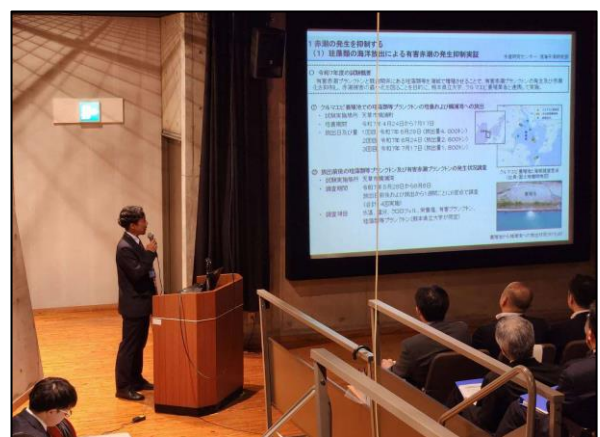
当日は、板倉特別研究員による「PT1年目の総括」に加え、当センターの浅海干潟研究部・養殖研究部に加え、連携して赤潮対策に取り組んでいる熊本大学及び(株)マイスティアから「令和7年度の成果や令和8年度の取組み」について報告しました。

出席者からは、「赤潮研究の先進的な取組みを聞いて良かった。養殖魚の高水温耐性が獲得できる餌や真珠養殖におけるヘテロカプサ赤潮対策に期待している」等の意見をいただきました。

今後も引き続き、赤潮対策PTでは、養殖業者をはじめ、県内外の関係機関と連携しながら、安定した養殖生産と漁業経営の確立に向けて、赤潮研究の加速化を図って参ります。



成果報告会の様子



令和7年度成果及び令和8年度取組み報告

Topic3. 養殖業者へブリ人工種苗を配付しました！

ブリ養殖業の持続的な発展のため、人工種苗の量産技術開発試験に取り組んでいます。
5月7日(木)及び13日(水)に、令和8年2月に当センターで採卵・生産した人工種苗約1万2千尾を、県内の協力養殖業者へ配付しました。

今後は、定期的に魚体測定を行い、その後の成長や生育状況を確認していきます。



↓ 配付する人工種苗



↑ 養殖漁場へ搬入



搬出準備



運搬車への積み込み、輸送

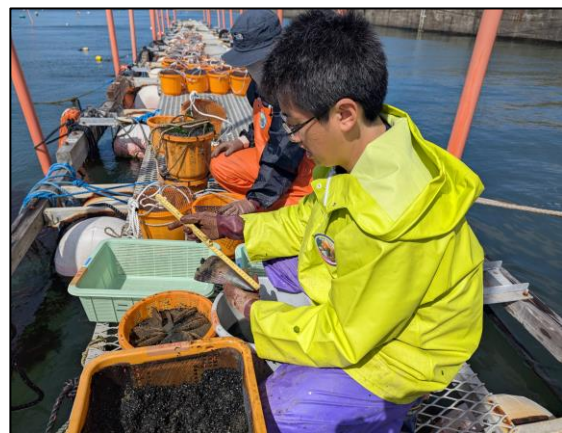
Topic4. タイラギの母貝団地を造成しています！

本県では、国や有明3県(長崎県、佐賀県及び福岡県)と協調し、3県が種苗生産したタイラギ着底稚貝を当センターで受け入れ、中間育成を行うとともに、母貝団地造成に取り組んでいます。

4月21日(火)及び22日(水)に、宇土市赤瀬漁港に設置している母貝団地において、カゴ及び基質の交換作業を行いました。今後は、安定した母貝団地の造成に向け、定期的な成長・生残、成熟状況の確認を行っていきます。



母貝団地用に飼育しているタイラギ



カゴや基質の交換作業

Topic5. クルマエビの種苗放流試験を行いました！

有明海の特産魚介類資源(クルマエビ・ガザミ)の資源回復に向けて、効果的な種苗放流試験を実施しています。5月18日(月)及び19日(火)に、宇土市及び熊本市川口地先において、クルマエビ(平均14mm以上)を計約150万尾放流しました。

熊本市川口地先の放流では、囲い網を用いた食害防止の効果を把握するため、親が異なる2群の種苗を囲い網の内外に分け、それぞれ放流しました。今後は、採捕されたクルマエビのDNAを分析し、放流効果や囲い網による食害防止効果を調査していきます。



放流したクルマエビ種苗



囲い網内への放流(熊本市川口地先)

Topic6. ワカメの採苗指導を行いました！

ワカメの持続的な生産や養殖業者の収入安定に向けて、養殖業者に対してワカメのメカブからの採苗(種取り)の指導等を行っています。

5月11日(月)に、天草広域本部水産課の普及員と連携し、天草市五和地区の養殖業者に対して採苗指導を行い、夏場の水温管理やこれまで実施していなかった照度の測定、定期的な顕微鏡による種系の確認等について技術的な指導・助言を行いました。

今後も関係者と連携しながら、ワカメの安定生産に向けた技術指導を行っていきます。



メカブから遊走子(種)を放出させる様子



養殖業者による種糸への採苗

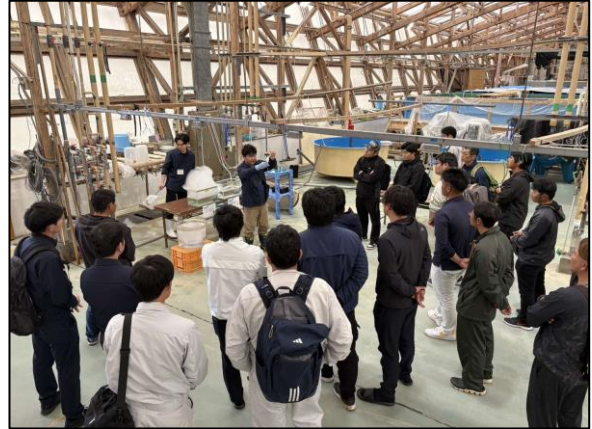
Topic7.水産用ワクチン技術講習会を開催しました！

当センターでは、疾病対策として、養殖魚に使用される水産用ワクチンの適正使用について、毎年講習会を開催しています。

今年度は、4月24日(金)に、県内の魚類養殖業者等約 45 名を対象とした水産用ワクチン講習会を当センター主催で開催し、参加者には実際の作業を想定しながら、ワクチン接種に必要な知識と技術を学んでもらいました。



講習会の様子(講義)



講習会の様子(実技)

Topic8. 熊本県立大学の学生に対して研修を実施しました！

5月23(土)に熊本県立大学環境共生学部の1年生約40名に研修を行いました。この研修は、現場体験授業(フィールドワーク)の一環として行われ、学生に熊本県の水産業や当センターの研究業務を知ってもらうため、同大学との連携により今年度初めて実施したものです。

研修では、熊本県の水産業の概要や、昨年度、当センター内に発足した赤潮対策PTの取り組みについて説明を行いました。その後、学生には、赤潮プランクトンの検鏡やブリ種苗生産等の状況、「調査船ひのくに」の船内見学等、研究の現場を体験・見学してもらいました。

参加した学生からは、「当センターの役割について知ることができ、県職員の業務の幅広さに驚いた」、「上天草という試験研究に適した環境で、地域の課題解決に取り組んでいることに非常に興味を持った」等の感想が寄せられました。

当センターでは、引き続き、水産業への理解醸成や当センターの試験研究業務を通じた人材育成を行っていきます。



プランクトンの検鏡体験



施設見学(採卵用親魚の飼育状況)